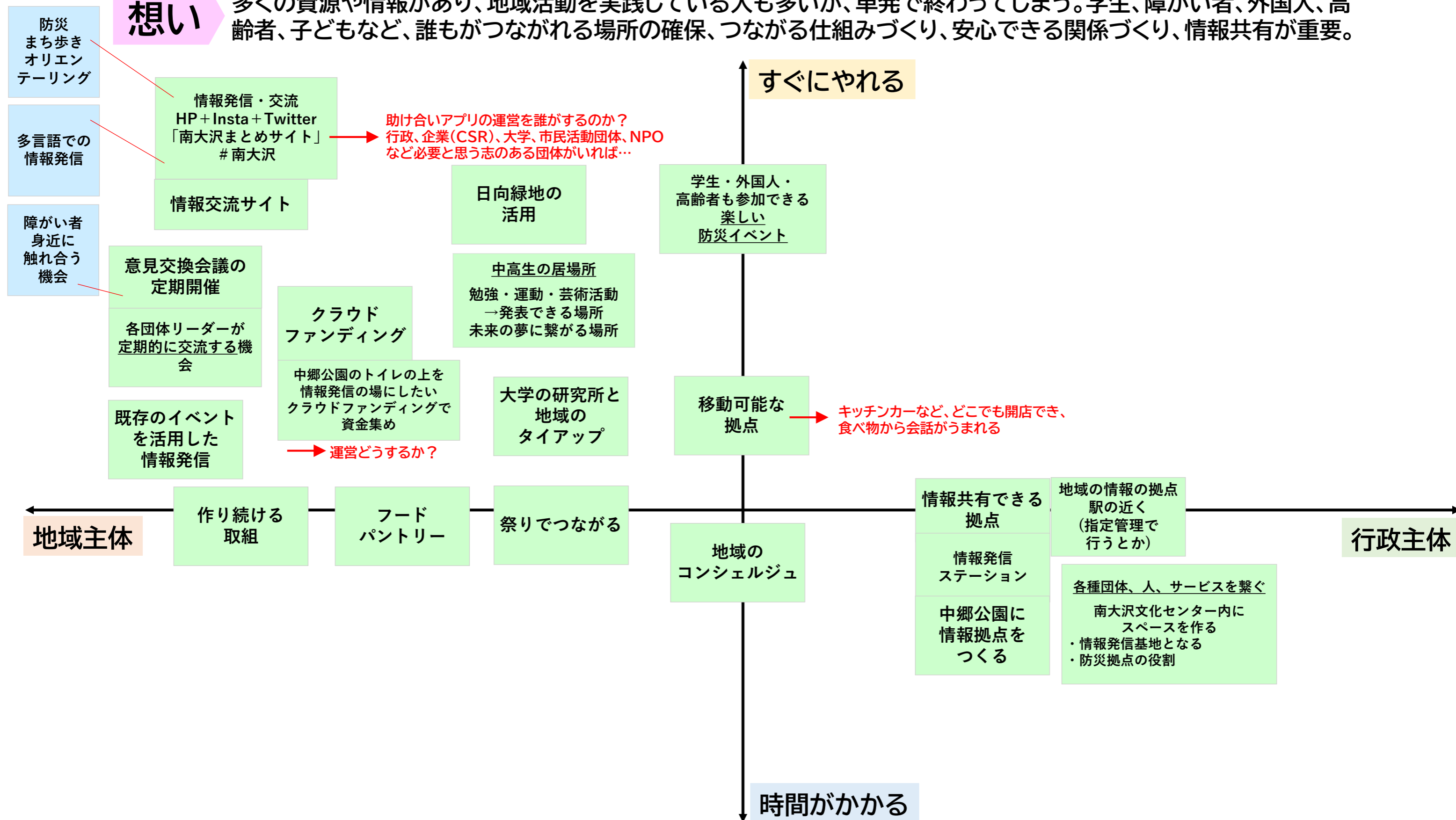


ありたい姿

だれもが繋がれる街 南大沢

想い

多くの資源や情報があり、地域活動を実践している人も多いが、単発で終わってしまう。学生、障がい者、外国人、高齢者、子どもなど、誰もが繋がれる場所の確保、つながる仕組みづくり、安心できる関係づくり、情報共有が重要。



つながる場所

つながるしくみ

安心できる関係

情報共有

地域福祉推進拠点の様な拠点となる場所を作り、CSW (コミュニティソーシャルワーカー) みたいないろいろな機関とつなぐ役割をもつ専門職がほしい

[南大沢中学校の限定の拠点が無い]
 ・拠点づくり
 ・人材確保
 ・ネットワーク構築

地域の人
が活躍できる場所

地域のいろいろな人が自然と集まれる場所がある

大学生が
つながれる街

障害のある方
外国人の方などが交流が気楽に図れる場所がある

ワンストップで相談できる場所がない

自然に触れられる街
(松木日向緑地など)

どんな方も相談出来る相談窓口
ワンストップ窓口がある

豊かな自然

つながれる場所がない

空き部屋
学生
シェアハウス

地域活動支援センター(I型)の設立

大学生×高齢者
スマホ教室

ちょっとしたことでも声をかけ合っ
て助け合うことができるしくみがあるのか？
わからない

町会未加入
マンション
→防災でのつながり作り

世代を越えて交流できるイベントがある

食べものから会話が生まれる

学生主体の取組
コーヒー

おまつり
イベント

大栗川
キャンドル
リバー

大学の窓口を通さず、
学生に直接働きかける

「あたりまえに挨拶できる大人のいる街」
地元商店、地元民、学生等が同じ方向に向かえるイベント事

全ての人が安心して活躍できる街

由木マルシェ
バーチャルな
商店街

地域の情報共有ができていない

学生が集まる場所がない